

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	帝京山梨看護専門学校
設置者名	学校法人 帝京大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	2,145 単位時間	240 単位時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

希望者は、窓口にて閲覧が可能。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	帝京山梨看護専門学校
設置者名	学校法人 帝京大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.teikyo-u.ac.jp/university/basic_info/administration/riji.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2018年5月 28日から 2022年5月 27日	企業での経験や知見 を本学運営に役立て る
非常勤	株式会社役員	2018年5月 28日から 2022年5月 27日	企業での経験や知見 を本学運営に役立て る
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	帝京山梨看護専門学校
設置者名	学校法人 帝京大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業科目については、シラバスとして、授業の方法および内容、到達目標、成績評価の方法を年度ごとに担当教員・講師が作成している。また、作成したシラバスは、カリキュラム委員会で教授内容および評価方法を確認した後、「学生便覧」に全科目を掲載している。シラバスの公表時期は、毎年4月1日とし、シラバスを掲載した「学生便覧」を入学時に全学生に配布している。 授業科目の公表については、ホームページに「教育内容」としてその概要を掲載している。その内容は、年間の授業計画、授業科目、授業の方法および内容であり、科目ごとに検索ができる。シラバスの公表については、教務窓口にて「学生便覧」の閲覧で公表している。	
授業計画書の公表方法	「学生便覧」(刊行物)の閲覧
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学修意欲の把握については、担当教員(担任制)により全学生の面接を定期的に行い、把握に努めている。また、学生の成績については、学期末(2期制)ごとに修得科目状況と平均点を一覧にし、学修状況を確認後、必要に応じて個別相談・指導を行っている。 学修成果の厳格かつ適正な評価について、試験終了後に出題した科目担当者が採点している。採点後は、すべての科目の平均点、標準偏差、合格判定を一覧表にして管理し、カリキュラム反省の評価としている。また、学生に評価方法および模範解答、平均点を示し、科目担当者による解説を行っている。教授内容および評価方法の適正化を図るために、全科目のカリキュラム反省を本校が独自に作成した評価項目に沿って実施している。カリキュラム反省は、中間および年度末の2度にわたって実施し、カリキュラム委員会による検討と全教員の出席による教員会議で授業科目が厳格かつ適正に実施されているか確認している。 履修の認定は、授業計画に沿って予定の科目の試験が終了した年度末に、全教員の出席する成績判定会議を設け、認定している。認定の結果は、年度末に学生およびその保護者に通知している。	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 全科目の平均点および標準偏差を算出(100点満点で点数化)し、成績評価として管理している。その内容は、カリキュラム委員会においてカリキュラム反省として科目ごとに評価をし、教授内容や評価方法を見直す客観的評価の機会としている。 また、成績評価およびカリキュラム反省の内容をもとに、教育目的・教育目標の達成度を評価しており、その内容については、教務窓口にて「自己点検・自己評価報告書」(刊行物)の閲覧で公表している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>「自己点検・自己評価報告書」(刊行物)の閲覧</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学則第14条に定める卒業の認定方針を「学生便覧」に掲載し、教務窓口にて閲覧で公表している。適切な実施として、授業計画で予定した全科目の試験が終了する3年次の卒業前に、全教員が出席する卒業判定会議を設け、学則に定める卒業に必要な修得単位数の確認をする。その後、校長が卒業を認定し、告示するという手順を踏んでいる。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>「学生便覧」(刊行物)の閲覧</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	帝京山梨看護専門学校
設置者名	学校法人 帝京大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.teikyo-u.ac.jp/university/finance/
収支計算書又は損益計算書	https://www.teikyo-u.ac.jp/university/finance/
財産目録	https://www.teikyo-u.ac.jp/university/finance/
事業報告書	https://www.teikyo-u.ac.jp/university/finance/
監事による監査報告（書）	https://www.teikyo-u.ac.jp/university/finance/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,045 単位時間	1703 単位 時間	307 単位 時間	1035 単位 時間		
			3,045 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		247人	0人	18人	12人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
授業は、講義（演習を含む）と臨地実習から成り、単位制になっている。カリキュラムで指定された授業科目を履修し、試験に合格した学生に単位を授与する。学則に定める全単位を修得した学生は、卒業を認定される。年間の授業は、4月を始期、翌年3月を終期とし、2学期制（前期・後期）となっている。カリキュラムの詳細は、ホームページの「教育内容」で公表している。
成績評価の基準・方法
シラバスに記載された評価方法により、担当教員・講師が試験を行う。成績評価は学則第12条に基づく厳格な基準で行われ、合格した学生に単位の授与を行う。全科目の平均点および標準偏差を算出（100点満点で点数化）し、成績評価をしている。
卒業・進級の認定基準
授業計画で予定した全科目の試験が終了したところで、全教員が出席する成績判定会議において、学則に定める卒業・進級に必要な修得単位の確認をする。その後、校長が卒業・進級を認定し、告示する。
学修支援等
1年次から、試験の成績結果から学生の個別的傾向（苦手科目など）を把握し、それに応じた少人数のグループ制で学修を指導している。学生が自身の学修結果を自覚し、学修方法の強化点が明確になるように支援している。また、学生の学年間の縦の

つながりを意識した活動として、上級生が下級生に自己の学修体験を伝えるレクチャーを行い、学生の自立した学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
68人 (100%)	0人 (0%)	68人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 山梨県内の医療施設、帝京大学グループの医療施設			
(就職指導内容) 就職説明会（3学年次）および病院見学会（2学年次）を実施。個別の学生に対応した就職相談・カウンセリングの実施。			
(主な学修成果（資格・検定等））看護師国家資格の取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
242人	11人	4.55%
(中途退学の主な理由) 進路変更、成績不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 成績不振者については、領域別の教員が正規授業以外の個別補習を実施。また、心的支援として、担当教員がメンタルヘルスを含めたカウンセリングを実施。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	200,000 円	480,000 円	150,000 円	施設設備整備費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
帝京大学グループ看護学生奨学金制度、帝京山梨看護専門学校沖永奨学生制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「自己点検・自己評価報告書(平成27年度～平成29年度分)」(刊行物)にて公表。 希望者は、窓口にて閲覧が可能。		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 教育内容・教育方法の検証および学修成果の客観的評価を実施するため、学校関係者として専門分野における業界関係者である就職先病院を選定し、学校評価委員会を構成した。具体的な評価方法として、「社会人基礎力評価表」と「臨床実践能力評価表」の2つの評価ツールを使用して病院所属の委員に卒業生の能力を評価してもらい、学修成果の達成状況を評価することとした。評価結果は学内全体で課題として共有化され、教員会議で議論の場を設け教育改善策立案に役立てている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価を確実に実施し、2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行う。		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.tei-kan.ac.jp
--